

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ディグ・スマイル前橋南教室			
○保護者評価実施期間	2026年6月1日 ～ 2026年6月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2026年6月1日 ～ 2026年6月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年7月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様に安心感をもって通所いただいています。	お子様の好き・嫌い、出来る・出来ない等を理解して、そのお子様に合わせたプログラムを作成するように配慮しています。	スモールステップで成功体験を増やしてレベルアップの質を高められるように検討会を実施し、それを実践できるように準備していきます。
2	個別支援計画の作成を職員全員で作成できています。	検討会時は、職員が極力参加できる日程で行なっており、保護者様からのニーズ、学校の様子、お子様の気持ちを尊重して作成できています。	支援内容に関して、スモールステップで記載して保護者様が成長を感じれるように、検討して参ります。
3	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫しています。	グループ分けやお子様によってプログラム内容を変更したり、以前と違ってレベルを変更したり、職員全体で工夫をしています。	新しいプログラムの作成や、教室独自のイベント・プログラムを検討したり、他事業所で行っているイベントを当事業所でもやってみたりと様々な観点で支援内容を作って参ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の配置数は適正ですが、学校送迎時に手薄になってしまうことがあります。	基準配置は満たしていますが、一時的に教室内の支援職員の数が少なく、事故やヒヤリハットにつながる場合があります。	お子様の利用数を確認して、配置の検討や事故が起きないような支援の提供を行っていく必要があると思います。
2	お子様のことを十分に理解していますが、お子様の特性等に応じた専門性のある支援が全職員一律で出来ていないときがあります。	瞬間的判断が遅く、他のお子様を巻き込んでトラブルに発展してしまうことがあります。	都度お子様の情報共有【教室内・学校・ご家庭】の質を高めるため、共有の方法や時間を事前に決める等、職員がしっかりと共通認識を持てるようにしていきます。
3	お子様が誤った行動した際・正しい行動をしなかった際に共感を持たずに注意してしまうことがあります。	保護者様へのフィードバックの際に、職員によって出来たこと・出来なかったこと等の配分がバラバラになってしまったケースがありました。	今後はお子様への声掛けの際は共感を意識し、その中で代替案の提示を行い、正しい行動に移せるように支援力を引き上げていきます。 また保護者様に安心してご利用いただけるよう、フィードバックの質向上を目指し、面談機会を設けて参ります。